

茶殻と乳清を地域資源に

～地元産エコフィードで育てた牛による蔵王町振興の取り組み～

コカ・コーラ・イーストジャパン株式会社
一般財団法人 蔵王酪農センター
宮城県蔵王町



はじめに

食品製造時の残渣として廃棄物処理されていた
爽健美茶の『茶殻』と蔵王チーズの『乳清』。
地域内での未利用資源活用を目指し、事業者と自治体が
関係者と協働で取り組んでいる内容をご紹介します。



宮城県蔵王町

みやぎけんざおうまち

Coca-Cola East Japan

コカ・コーライーストジャパン



一般財団法人 蔵王酪農センター



会社・団体概要

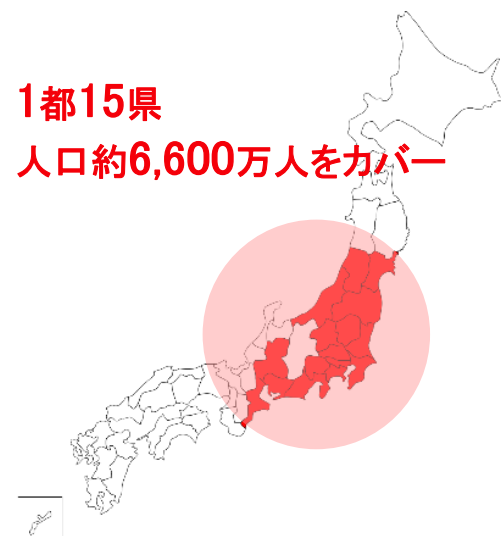
コカ・コーライーストジャパン

Coca-Cola East Japan

- ・コカ・コーライーストジャパンは、平成25年7月1日に関東・東海地域のコカ・コーラボトラー4社が統合して誕生。
- ・平成27年4月1日、仙台コカ・コーラボトリングを事業統合。
- ・親しまれた製品と市場に根付いた販売網を誇る、日本最大、世界有数のコカ・コーラボトラーです。

蔵王工場

- ・所在地：宮城県刈田郡蔵王町
- ・竣工：平成8年4月
- ・現在、約100種類のコカ・コーラ社製品を製造



1都15県
人口約6,600万人をカバー

年間販売数量(実箱ベース)
約**3億600万**ケース

販売店数
20万軒以上

年間売上額
¥**5,631**億円



自動販売機、クーラー、
ディスペンサー
55万台以上

飲料ブランド数
約**50**種類

従業員数(正社員・臨時従業員の合計)
約**11,000**人



会社・団体概要 蔵王酪農センター



一般財団法人 蔵王酪農センター

4

主な沿革:

昭和32年 2月3日農林水産大臣許可のもとに、神奈川県厚木市に設立

昭和39年 本格的実験農場をめざして、宮城県蔵王町に移転

平成25年 4月1日一般財団法人に移行

事業:

- 酪農畜産経営改善の為の普及・啓蒙・各種研修及び新技術の調査、開発研究
- 乳製品の製造技術に関する試験研究及び指導教育
- 乳製品の製造及び販売





会社・団体概要

宮城県蔵王町



5

宮城県刈田郡蔵王町(ざおうまち)

人口：12,435人（平成29年1月31日現在）

歴史：

蔵王町(ざおうまち)は昭和30年、宮村と円田村が合併して誕生。

特色：

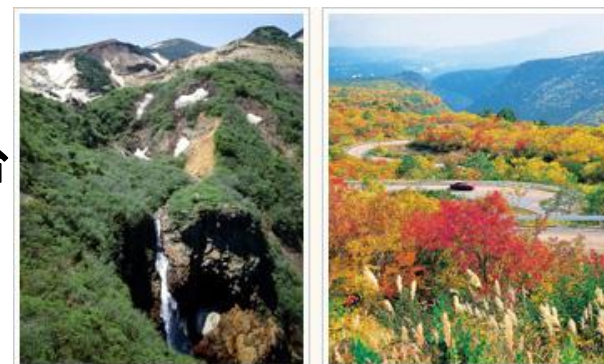
- 東北の霊峰蔵王連峰の東麓、宮城県の南西部に位置し、町域の約6割が山林・原野で占められています。蔵王連峰に連なる高原地帯には貴重な野鳥などが生息し、自然の宝庫となっています。

特産物：

- 丘陵地を利用した果樹栽培、高原育ちの新鮮な牛乳から作られるチーズなどの乳製品など

観光

- 蔵王連峰、遠刈田温泉、御釜(おかま)、蔵王エコーライン、滝見台(三階滝&不動滝)、樹氷など





取組のご紹介



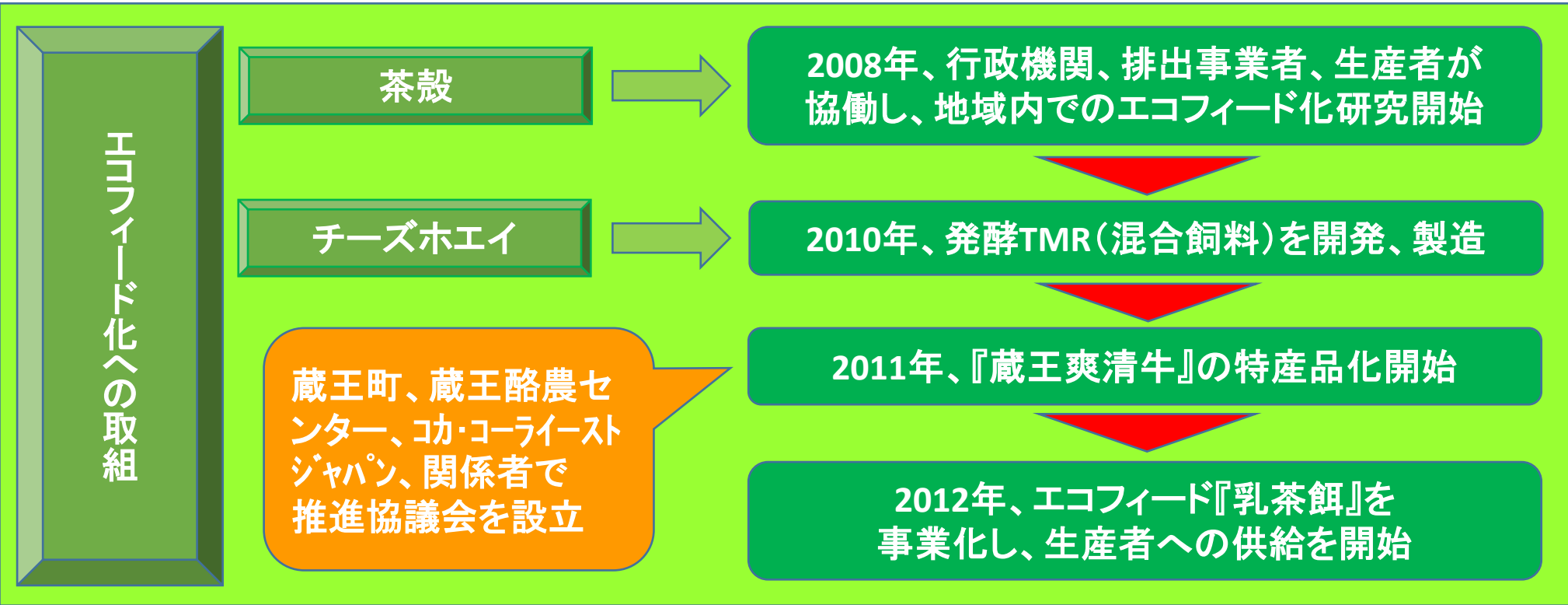
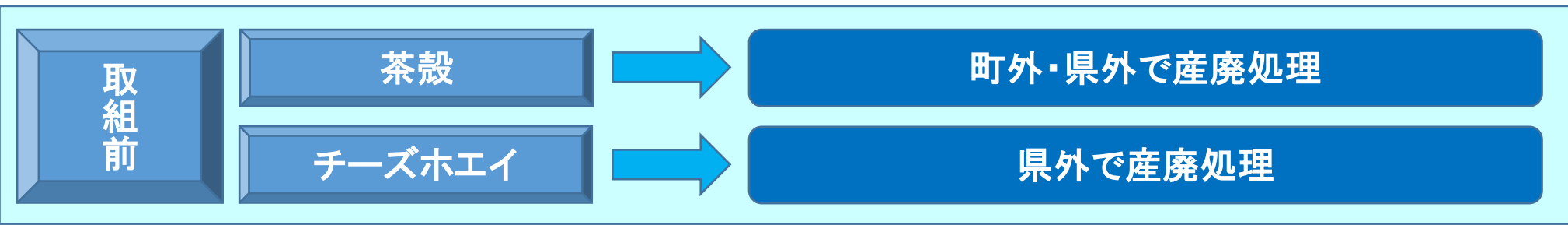
エコフィードと蔵王爽清牛について ～資源循環の全体像～

『爽健美茶』の茶殻と『蔵王チーズ』の乳清を蔵王町内でエコフィード化





エコフィードと蔵王爽清牛について ～開発・生産の歴史～





蔵王爽清牛の特徴

蔵王町の「蔵王」、爽健美茶の「爽」、
乳清(チーズホエイ)の「清」から命名

蔵王爽清牛



F1(交雑種)

赤身が多いわりに
柔らかい

オレイン酸の含有量に
優れている

脂っぽさが少なく
さっぱりした味わい



蔵王爽清牛を活用した地域振興の取り組み

蔵王爽清牛

蔵王町と関係者が連携して、地域資源としての様々な活用を推進



宿泊施設・飲食店、
お土産・贈答品



蔵王町観光と
工場見学・酪農体験を
セットにしたツアー



(写真はイメージです)

社会教育、
食育に活用

小中学校の社会
見学や給食で提供



新たなエコフィード『乳茶餌(ニューチャージ)』

11

蔵王爽清牛を育てたエコフィード『乳茶餌(ニューチャージ)』も
地元の酪農家、畜産農家への普及拡大に向け取組中



『乳茶餌(ニューチャージ)』の特徴

活性乳酸菌入りの補助飼料で肉牛・乳牛の各ステージで幅広く利用出来ます

穀類が多く使われている「爽健美茶」の茶殻と良質な蛋白質を含んでいる
チーズホエイを利用したエコフィードで嗜好性と消化吸収に優れています



我々の取組はまだ始まったばかりです。
今後も『農業と観光のまち』蔵王町の活性化に向け、事業者、自治体、生産者が協力し、『蔵王爽清牛』やエコフイード『乳茶餌』の普及、拡大に向け取り組んでまいります。

